

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会
平成 29 年度第 5 回理事会議事録

開催日時： 平成 29 年 8 月 25 日（金）16 時 00 分～18 時 30 分

開催場所： 日本臨床検査自動化学会事務所（文京区本郷）

出席者： 康 東天理事長、横田浩充副理事長、
 谷直人理事、澤部祐司理事、萱場広之理事、萩原三千男理事、
 栢森裕三監事、村上正巳監事、白井秀明監事

欠席者： 通山薫理事、日高洋理事、和田隆志理事

冒頭、康 東天理事長より、第五回理事会にご参集頂いたことへの謝辞があり議事に入った。

議題 1. 理事長挨拶と理事長報告

康 東天理事長より、以下の 2 点が報告された。

- ① 8 月の AACC 学会(サンディエゴ)にて、AACC 学会・自動化学会・JACLaS による学会・展示の国際交流を目的とした会議に出席し、来年の自動化学会・JACLaS 展示にて、国際学会と機器展示を共同で開催、国際シンポジウムも併せて開催する方向で協議した。
- ② 医療情報委員会の立ち上げに関連して、AI に焦点をあてたシンポジウムを 11 月頃に東大医科研(東條検査部長・湯地先生) で開催の予定である。本学会との共催、AMED 班研究に後援として参画してもらう。

議題 2. 総務報告

横田副理事長より、以下の 2 点が報告された。

- ① 会員管理システムの導入を進めている。導入に際して、データの入力など事務作業が増大するために、アルバイトの事務員を 1 名採用した。
- ② JACLaS との共催シンポジウムに関して、シンポジウムの共催負担金を JACLaS に要請した。

議題 3. 役員役割・担当確認

康 東天理事長より、資料 1 に基づいて各理事の担当を説明・確認された。自動化学会には支部がなく、学会の安定化のために人材発掘と演題数の増加の必要性があり、支部に相当する役務として地域毎に担当理事を提案する。北海道・東北：萱場理事、関東甲信越：澤部理事・萩原理事、東海・北陸：ヅ谷理事（主に東海）・和田理事（主に北陸）、近畿：日高理事、中国・四国：通山理事、九州：康理事長とする旨、説明がなされ了承された。

議題 4. 平成 30 年度予算書確認

澤部理事より、資料 2 に基づいて予算案の説明があった。基本的には前年度を踏襲しほぼ例年通りとした。ただし、収入の部：功労会員会費・セミナー収入を実態に合わせて増・減額した。寄付金は、恒常的な収入ではないため 0 円とする。支出の部：大会事業費、委員会活動支出を増額した。会議費と通信費で、選挙関連費用を減額した。管理費の給与手当を臨時職員分として増額した。助成金は、実績に基づいて減額(100 万→50 万)を検討したが、POC 委員会が 2 年に 1 回・国際学会で発表している費用を助成する等の必要があり協議の結果 10 万円に変更しないこととした。

本会担当の公認会計士(鹿谷氏)と、総会時に質問があった“納税に関する扱い”について打ち合わせた。当学会は営利団体ではないので、都民税の支払いの必要はないとの説明があり現行通りで行く方針となった旨、報告がなされた。但し、高額な黒字決算が続くと望ましくないとの見解が示され、収支の区分や名目を見直すことと、アカデミックな活動を活性化して適正な支出増を考える必要があるとの報告があった。審議にて、委員会活動の出版事業も、従前から事業活動を抑制してきたが、委員会の活動費を予算計上し学術事業を適正に充実させることとした。

議題 5. 平成 30 年度事業計画の報告

横田副理事長より、例年の活動を踏襲した計画とする旨、報告がなされた。審議にて、刊行物の発刊を増強修正することで承認された。なお来年度以降、理事会は日曜日開催とする方向とし、できるだけ早期に年間予定を決めることとし

た。また、学会の演題数の増加のために、学会の開催期間を含めて次回以降に議論することとした。

議題 6. 第 33 回春季セミナー(札幌)日程案内

平成 31 年度の第 33 回春季セミナー日程について、学術担当理事が欠席のため横田副理事長より資料 4 に基づいて報告がなされた。

- ・ 例会長：高橋 聡先生（札幌医科大学）
- ・ 日付：平成 31 年 4 月 27 日（土）
- ・ 会場：ホテルライフオー ト札幌

議題 7. 名誉、功労対象検討

横田副理事長より資料 5 に基づき候補者が紹介され、名誉会員に、細萱茂実会員および山館周恒会員が該当する旨の報告があり承認された。功労会員の該当者は、審議の結果、要件(4)を適応し 4 名（鵜澤龍一会員、清島満会員、高木康会員、山本慶和会員）とすることを決議した。

議題 8. 臨時社員総会について

横田副理事長より、2017 年 9 月 22 日に開催される臨時社員総会に関する確認事項について下記の説明がなされ、協議が行われた。当日の司会は、康理事長が担当することを確認した。

(1) 開催案内確認

提示どおりで問題ないことを確認した。なお 9 月 1 日付の発信で、定款“総会開催の 2 週間前までに発信”の条件は満たしていることを確認した。

(2) 式次第および資料の確認

① 第 1 号報告「平成 30 年度事業計画報告」について

会員総会の曜日の不備を訂正することを確認した。

② 第 1 号議案「新規名誉・功労会員選出」について

議案名に「功労会員」を加筆し、新規功労会員氏名を加えることを確認した。

(3) 出欠はがきの確認

記載形式は、昨年を踏襲することとした上で、功労会員 4 名を追記するこ

ととなった。なお、議決権行使と委任の両方に記載した場合は、議決権行使を有効として扱うことを確認した。

(4) その他

特になし。

議題 9. 第 50 回大会の演題募集時期の承認願いとポスター案内

横田副理事長より、通山次期大会長の内容確認が済んでいる旨の説明があり、演題締め切り・会期について承認された。

議題 10. 第 50 回大会のスケジュール確認

横田副理事長より、資料の網掛けプログラムは通山次期大会長が確定したい旨、報告され本スケジュールを承認した。また、サテライトセミナーの日程については、極力早期に企業に連絡するよう指示することとした。なお、大会 2 日目夕方の意見交換会に至るまでの午後プログラムは再考の余地がある旨、9 月 21 日開催のプログラム委員会にて検討を指示することとした。

議題 11. 臨薬協との面談について報告

康理事長より、理事会当日配布資料に基づき以下の報告があった。3 月に康理事長、山舘前副理事長と臨薬協の内山氏・他 2 名とで面談した。内容は“試薬検討が学会発表として活用できなくなり自動化学会の発表者が減少しているのでは？”との見解について協議し、一旦、臨薬協に持ち帰り検討することとなった。8 月 18 日に臨薬協法務委員会の内山氏から、“試薬検討でも学会報告ができるよう臨薬協側の要件を緩和する”ことについて引き続き前向きに検討していると山舘前副理事長に経過説明があった。具体的に、どのようにできるかは、現時点で決定事項はなく、今後臨薬協とさらに前向きに検討を進める旨の報告があった。

議題 12. POC セミナー趣意書申請

横田副理事長より、標記趣意書申請が提出された旨、説明があったが、本件は提出の必要性はなく、申請元に対してはゞ谷理事から説明することとした。

議題 13. POC 委員会委員の新任

谷理事より、9月21日の委員会にて審議の予定の案件であり、次回理事会に先送りしたい旨、説明があり認められた。

議題 14. 科学技術委員の交代、新任

澤部理事より、申請内容の説明があり承認された。

議題 15. 医療情報委員会委員の新任

横田副理事長より、申請内容の説明があり承認された。

議題 16. 編集委員の退任報告

横田副理事長より、群馬パース大学の亀子委員から退任希望あり承認された。

議題 17. 細則変更の提議

康理事長より、(細則第14条5項に沿って選出される)指名理事の人数変更についての構想が説明された。

目的は、人材発掘と演題数の増加による自動化学会の安定化のため、地域担当理事を適正に割り当てるには、選挙理事のみでは全国をバランス良く網羅できない場合があり得る。指名理事を、選挙理事の半数を超えない範囲で追加できるようにしたい旨、説明があり審議の結果、細則を提案の通り変更することが承認された。

上記により、現在の選挙理事数では必要に応じて、あと1名の指名理事の追加選出が可能である。現細則では“指名理事は2名以内”と明記されているため細則を変更する必要がある。別の表現となるが“定款：理事の総数は5名以上15名以内”に基づき、選挙理事は理事総数の3分の2以上を確保する。

議題 18. 会員管理新システム：G-system の導入進捗報告

学会事務局より、資料14：導入工程表を基に進捗報告がなされた。

本番稼働開始は、来年1月16日(月)を予定している。来年度の年会費請求の際

には、本システムの決済機能が利用できる見込み。現在、開発メーカーと機能の
摺り合わせを進めている。

なお、開発・導入を進めていくに際して、萩原理事を担当とすることで合意し
た。

システムの稼働後は、事前登録による割引についても JACLaS も交えて検討
する必要がある。社員総会にて、本システムによる会員管理を導入することを説
明することとした。

議題 19. その他

横田副理事長より、以下の行事について説明・確認があった。

(1) 次回プログラム委員会

平成 29 年 9 月 21 日 (木) 10 時～11 時 311 号室

(2) 次回理事会

平成 29 年 9 月 21 日 (木) 11 時～12 時 317 号室

(3) 社員総会

平成 29 年 9 月 22 日 (金) 15 時 15 分～16 時 00 分 503 号室

(4) 会員総会

平成 29 年 9 月 22 日 (金) 16 時 00 分～17 時 30 分 503 号室

追加発言

〆谷理事から学会の COI の開示に関して“本来、筆頭者のみでなく全て
発表者について開示の必要がある。加えて、各委員会の委員についても COI
開示の必要がある。”との発言があった。

このことについて、倫理 COI 委員会(吉田委員長)の開催と検討を要請する
こととした(次回理事会で検討案の検討をできると望ましい)。次回 9 月 21
日の理事会にて、通山理事から上記に関して議題として提案することとした。

以 上

平成 29 年 7 月 21 日


一般社団法人 日本臨床検査自動化学会

理 事 長

康 東 天 (康)


議事録署名人

(出席監事)

白井秀明 

議事録署名人

(出席監事)

村上正巳 

議事録署名人

(出席監事)

稲森裕三 